



網走 ポートガイド

Abashiri Port Guide



能取岬

シャトルバスの運行

未定

帰船時間（自由行動の方々）

未定

観光情報は、こちら！

網走市観光協会

電話0152-44-5849

URL : <http://www.abakanko.jp/>

テンダーボートの運航

あり（船内でご確認ください）

船舶代理店

日本通運 網走支店

電話0152-44-7151

網走港は、北海道北東部、オホーツク海に面した港です。網走市・北見市をはじめとする北網広域圏の物流拠点として、重要な役割を果たしています。豊富な漁業資源に恵まれ、秋鮭の水揚げ高は平成24年全国一。沖合・沿岸漁業の基地としても知られています。

一方で、世界自然遺産「知床」の玄関口としてクルーズ船も数多く寄港し、道東観光の発着点として利用されています。空の便についても、車で約30分の距離にある女満別空港から、国内主要都市への直行便が運航されています。

近年は、夏場の冷涼・少雨な気候環境と、日本一と評価されている天然芝グラウンドを求めて、ラグビーチームを中心とした国内トップのスポーツチームが夏合宿で訪れます。

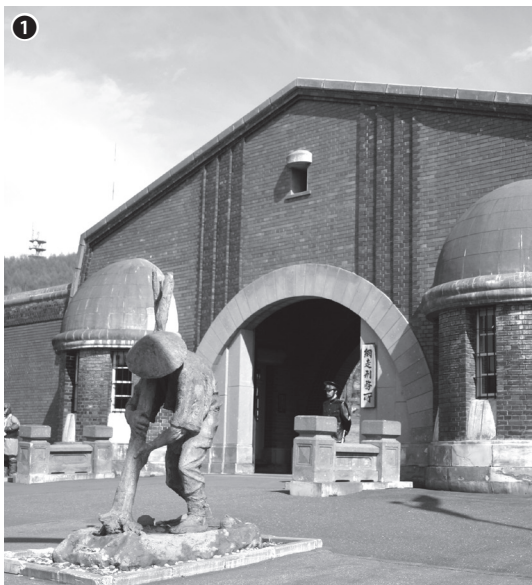
市内観光については、オホーツク海を一望できる「能取岬」など、北海道ならではの自然を満喫することができます。また、網走といえば「刑務所」というイメージが定着してい

ます。明治時代から実際に網走刑務所で使用されてきた建物を保存公開し、北海道開拓の歴史を展示している施設が「博物館網走監獄」です。

そして、冬の観光といえば遠くロシアから流れてくる流氷が有名です。1月から3月は流氷観光砕氷船「おーろら」が運航し間近で流氷を見ることができますが、名勝・天都山にある「オホーツク流氷館」では、流氷の常設展示を行っています。

網走の食といえば豊富な海の幸です。都内料亭では高級食材のキンキ、粒が大きく北海道一の漁獲量を誇る網走湖産のシジミ、全国でもほとんど水揚げされていないシラウオ、釣って楽しい・食べて美味しいワカサギ、身とミソがたっぷり詰まっている流氷明けの毛ガニなど、ここでしか味わうことのできない新鮮で美味な海産物が多数あります。

四季を通して、様々な楽しみがある「網走」。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



① 博物館網走監獄

明治時代から網走刑務所で実際に使用していた国の有形文化財である建物を、天都山に移築・修復して保存公開している野外博物館です。明治29年築の獄舎「五翼放射状平屋舎房」は、刑務所の施設としては日本最古、同形式の木造建築としては世界最古です。また、北海道開拓使とともに歩んだ刑務所の歴史がわかる展示物も豊富です。食堂では、現在の網走刑務所で収容者が食べているメニューを再現した「体験監獄食」を提供しています。

② オホーツク流水館

流水とオホーツク海の生き物をテーマとする科学館です。流水の天使「クリオネ」を間近で見たり、本物の流水に触ったり、他にもさまざまなイベントを開催しています。流水体験室では、真夏でも本物の流水に触ることができます。マイナス15度に設定された室内では、濡れたタオルを振り回して凍らせる「シバレ体験」が楽しめます。

展望台からは一面に広がるオホーツク海、網走湖、能取湖、濤沸湖、藻琴湖、知床連山の雄大なパノラマを360度楽しめます。

③ 北方民族博物館

北海道立北方民族博物館は北方地域を専門とする点で、日本では唯一の、そして世界的にも数少ない民族学博物館です。常設展示では、北方地域の諸民族の文化と、その形成に関わりの深い先史文化を紹介しています。東はグリーンランドのイヌイト（エスキモー）から、西はスカンディナヴィアのサミ（ラップ）まで、広く北方の諸民族を対象とし、衣食住、生業、精神文化、文化の伝承などをテーマに構成しています。また、先史文化については、北海道のオホーツク海沿岸にかつて栄えていた、オホーツク文化を中心に紹介しています。

④ モヨロ貝塚館

大正2年、網走川河口左岸の平地の地中から、従来とは全く異なった1200年ほど

前の遺跡が発掘されました。アイヌ文化の人々や、現存するどの民族とも違う彼らを当時「モヨロ人」と呼び、この地はモヨロ貝塚と命名されました。オホーツク海周辺に栄えたオホーツク文化の遺跡ということが後に明らかになり、その代表的な遺跡として世界的にも有名になりました。建て替え工事を終えた新しい「モヨロ貝塚館」が平成25年からオープンしています。

⑤ みなと観光交流センター道の駅「流水街道網走」

カモメが飛び交い、漁船が行き来する網走川河口に位置し、オホーツク海や知床半島を一望できるみなと観光交流センター。当センターは道の駅としての機能も兼ね備えており、「流水街道網走」と命名されました。観光情報をはじめとした地域の多様な情報発信や、地元の農水産加工品の販売などを行っており、冬期間は流水観光砕氷船「おーろら」の発着場として、流水観光の拠点にもなっています。

自然を体感



演、映画「南極料理人」や、トヨタのCMなどのロケ地としても有名です。隣接する美岬牧場には5月中旬～10月中旬に馬や牛が放牧され、のどかな雰囲気より一層感じることができます。

⑥ 能取岬

能取岬から見下ろす澄み切ったオホーツク海と知床連山は、自然の美しさと雄大さを感じられる、おすすめの名所です。ドラマ「半澤直樹」でお馴染みの堺雅人さん主演、



⑦ フラワーガーデン「はな・てんと」

網走レークビュースキー場を、夏から秋にかけて花園として整備しているのがフラワーガーデン「はな・てんと」です。市民と協働の観光地づく

りを推進する取り組みとして、市民グループが花畑の一面をボランティアで育てています。3.5ヘクタールの斜面いっぱいに咲く色とりどりの花々が、訪れる人をやさしく迎え入れます。

港までの所要時間

JR「網走駅」より	■車で約10～15分
「網走バスターミナル」より	■車で約5～10分
女満別空港より	■タクシーで約35分 ■女満別空港より「網走バスターミナル」行きバス（所要時間／約35分、料金880円）

※バス運行会社問い合わせ先 電話0152-43-4101／網走バス

埠頭所在地

〒093-0032 北海道網走市港町4番地地先



網走

おすすめグルメガイド

自然豊かな網走の楽しみの一つは「食」。網走には海、湖があり魚介類の宝庫となっています。また、全日本牛枝肉コンクールで名誉賞を受賞した「オホーツクあばしり和牛」や、太陽の恵みをいっぱい受けた新鮮野菜も、ぜひご賞味ください。



オホーツク網走ザンギ丼

網走産のオホーツクサーモンの美味しさを広く知ってもらうために作られたご当地グルメです。網走産のオホーツクサーモンを、天然の調味料である白魚醤油に漬け込んで揚げた「網走ザンギ」を、北海道産のご飯の上にのせた料理です。魚嫌いのお子様もお肉感覚で食べられるので好評です。



網走ちゃんぽん

長崎・雲仙の歴史と北海道・網走の食文化が融合したご当地グルメ「網走ちゃんぽん」は、雲仙市小浜のソウルフード「小浜ちゃんぽん」を網走産の食材でアレンジし、おいしく仕上げました。遠く離れた北と南のマチが力を合わせた一杯。ふるさとを愛する人たちの熱い気持ちが込められた「網走ちゃんぽん」は、体だけでなく心も温めてくれます。

くじら料理

網走は日本最北の捕鯨の街です。市内2社が今も活動が続け、捕鯨の灯を消さないよう一所懸命頑張っています。くじらといえば缶詰というイメージがありますが、市内の飲食店では刺身はもちろんのこと、竜田揚げやベーコンなど美味しいくじら料理を食べることができます。